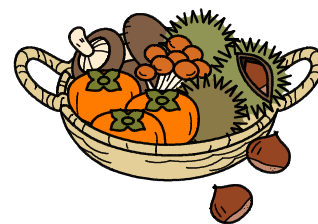




# 校長室だより 一步一步



運動会では、子ども達のがんばる姿がたくさんみられました。競技や演技はもちろん、金管演奏や開閉会式での姿、係活動など成長した姿がみられたと思います。また、育友会の役員をはじめ保護者の皆様方には、応援はもとより会場の準備や後片付けを手伝ってくださりありがとうございました。とてもとても助かりました。また、白峰地区の運動会でも元気に参加する子ども達の姿がありました。



ただ、副区長さんのご挨拶のときに、「おはようございます」のあいさつの声がほとんど聞こえなかったことは残念でした。このような時にも元気にはっきりとした声であいさつができるようになってほしいと思います。

さて、10月がはじまりました。4月から始まったこの学年もちょうど半分がすぎ、後半がスタートしました。「天高く馬肥ゆる秋」よい季節です。運動会で体を鍛えました、今度は「頭」も鍛えていきましょう！

## 切磋琢磨！！

10月の白峰っ子集会では「切磋琢磨」をキーワードにして、次のようなお話しをしました。

世界で一番硬い鉱物は何でしょうか？それはダイヤモンドです。ダイヤモンドは少ないので貴重なのです。50グラムのダイヤモンド原石の価値は21億円という事例もあります。すごいですねえ……。そんなダイヤモンドですが、原石を価値あるダイヤモンドに加工しなくてはなりません。では、世界で一番硬いダイヤモンドは何で加工するのでしょうか。答えはダイヤモンドです。ダイヤモンドはダイヤモンドで切ったり、削ったりして価値あるダイヤモンドにしあげます。



みなさんは、ダイヤモンドの原石のようなものです。貴重な命の持ち主ですが、価値あるダイヤモンド、しっかりした大人になるためには、そのままではなれません。ダイヤモンドのように、友達どうしや大人の中、地域の中で、もまれて磨きあうことによって成長し、よい“ダイヤモンド”になります。このようにお互いが、よりよくなるために磨きあうことを“切磋琢磨”といいます。「切」は切ること、「磋」はこすりあってみがかくこと、「琢」はのみなどで打ってきざんでみがかくこと、「磨」は石でこすってみがかくことで、切磋琢磨はとにかく磨いて磨いてよいものにするということです。友達同士、競い合ったり協力し合ったりすることでよりよくなっていきます。ときにはけんかをするこゝもあるでしょうが、そのときどうするか、そのあとどうするかも磨き合いです。勉強も運動も、社会性もお互い“切磋琢磨”して、自分を高めて行ってほしいと思います。

大人も子どもも切磋琢磨して高め合っていきたいものです。